

仙人ヶ岳山行報告

【山行日】2018年 12月 8日(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 700円

【メンバー】CL: 鈴木ユ、 安西、大西、梶内、
島田、鈴木ヒ、関、五月女、津佐、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=岩切 P6:55/7:10~

生満不動尊 7:50/8:00~分岐 8:40/8:50~

仙人ヶ岳 9:15/9:25~熊の分岐 9:50~犬返し

10:25/11:10~知ノ岳 11:30/12:10~東尾根分岐

12:50~猪子峠 13:30~岩切 P13:50/14:00=岩舟支所P15:15

静かな沢沿いの道を辿って仙人ヶ岳に登り、山頂からは眺望の良い尾根歩きとクサリ場等、変化に富んだ楽しいコースを計画した。我輩は20回以上このコースを歩いているが、いまだ飽きることは無い。



登山口にトイレは無いので、葉鹿町のコンビニでトイレを済ませ、岩切の駐車場に車を止める。

準備を整え、ストレッチを済ませて出発する。

猪子トンネルに向かって200mほど舗装道を歩き、「生不動・仙人ヶ岳」の標識から左の林道に入る。木の鳥居をくぐり、沢沿いに林道を進むと行き止まりになり、右に丸木橋を渡って沢沿いの小道を進む。杉林の道を緩やかに登り、不動沢の滝入口分岐に出る。直進は滝に向かい、右

に登る道は高巻道でこの先で合流する。直進すると滝の手前で岩場を登るようになり、クサリを頼りに岩を登ると高巻道と合わさる。沢床を左右に渡り返しながら登り、変化に富んでとても楽しく歩ける道だ。平坦な沢沿いの道になると、まもなく生満不動尊に着く。小休止して衣服調整し、リンゴを食べて水分を補給する。この先から水流が細くなり、小さな滝から上は水流が消えてしまう。

明るい雑木の谷間を登り、右に回り込むように急坂を登ると尾根に出る。

ここが熊ノ分岐で、左は仙人ヶ岳、右は猪子峠の道標が立っている。今日は皆さん快調で、疲れたと弱音も吐かず登って来た。小休止し呼吸を整えたら左に尾根を登り、仙人ヶ岳に向かう。ザレた急坂を登りピークを越えると、ゆるいアップダウンを繰り返す。赤雪山からの分岐を過ぎると仙人ヶ岳東端のピークに着く。

さらに西へほんの少し行くと、仙人ヶ岳山頂に着く。明るい雑木林の山頂で、落葉した樹間から日光連山や皇海山を見ることが出来た。



山頂の標識前で記念写真を撮り、リンゴや菓子を食べながら疲れた体を休める。



帰路は往路を熊野分岐まで戻り、ここからは直進して尾根伝いにアップダウンを繰り返し進む。尾根道は赤松やクヌギ、コナラ等の自然林で、展望も良く気持ちよく歩ける。展望の良い561mピークで小休止し、松田川ダムや赤雪山の眺望を楽しむ。露岩の尾根を快調に進み、巻道の標識がある鞍部の先がコース最大の難所「犬返し」のクサリ場である。

皆さんに我輩が下るのを見てもらい、「自信が無かったら巻道を下りていいよ」と言うが、初めての

の皆さんは「鎖で下ります」と頼もしい返事。一人ずつゆっくりと下るが、クサリ場の半ばが難しく苦戦する。時間を掛けて何とかクリアし、笑顔がもどった。クサリ場でエネルギーを使い「お腹が空いた」と言うので、知ノ岳山頂でランチタイムとする。定番のキノコうどんを作るが、今日のうどんは道の駅「思川」で買ったひもかわうどんにした。美味しいか心配したが、うどんに味がありとても美味しいと評判が良かった。エネルギーを補給したら元気が出て、また快調に歩いて行く。511mピークを越えアップダウンを2度ほど繰り返し、東尾根分岐に着く。直進して下り切ると緩やかな下りになり、薄暗い杉の植林帯を下ると、祠と道標が立つ猪子峠に着く。峠からは右に小俣方面に下り、山腹を巻くよう



に下ると舗装道に出る。ここから舗装道を数分下ると、岩切の駐車場に着く。靴を履き替えたら車に乗り、途中のいつも寄るスーパー「とりせん」に寄り、トイレを借りて買い物をして帰路につく。初めての3人は「犬返し」の岩場は苦戦したが、とても楽しかったと大満足だったようだ。